



春の大会 それぞれの光景…

4月の第2週の週末から始まった部活の春の大会。この期間は一か月以上にわたって各部活動の大会が開催されます。夏の総体は期間が短期間に凝縮されていて、なかなか子供たちの活躍する姿をじっくり見ることができないのですが、春の大会は毎週土日に行われ、開催日が分散しているため、けっこう応援に回れます。とはいえ、一日で様々な会場を回るのはけっこう大変です。

それでも応援に行きたい、と思うのは、子供たちがそれぞれの部活で一所懸命に頑張っているからです。どの会場でも応援に来られた大勢の保護者の方々の姿を目にしました。皆さん、おそらく家では見られないお子様の姿を見られたことだろうと思います。私も子供たちのちょっとした「いい場面」を目にする機会がけっこうありました。

試合ですから勝つこともあれば負けることもあります。優勝しない限り最後はどこかで負けて無念な思いを味わうわけですが、子供たちは、そこで様々なことを学びます。

試合後、学校に戻ってから「校長先生、応援に来てくれてありがとうございました！」と言ってくれる子供たちが結構いて、とてもうれしく思いました。その時の子供たちの顔は、試合の結果にかかわらず、とても爽やかです。でも、その表情の裏には、次こそこうしよう、こうしたい、という気持ちが潜んでいるように思えます。今回は試合に出られなかった者も、<次こそ…！>と思う気持ちを燃やしていることでしょう。

演劇部も春の発表会があり、こちらもあり遂げた満足感を感じさせてくれる見ごたえのある発表でした。文化系の部活動には運動系の部活動とはまた違った感動があります。

子供たちは、それぞれ自分自身の選んだ場所で成就感や達成感を得たり、時には挫折したり、くじけそうになったりしながら、少しずつ成長しています。

その一步一步積み重ねていく姿こそ、見届けてあげたい、応援したいと思っています。

なぜ校長先生になったんですか？



今回、ある種目の応援に行ったときのことで。試合会場で一緒に応援していた一人の女子生徒からこんな質問を受けました。生徒からこんな質問を受けたのは初めてでした。率直すぎるくらいストレートな問いかけだったので、いい加減な答えはできないと思い、ちょっと考えてからこう答えました。

「先生や生徒、みんなでいっしょに学校を作りたいからかな。担任の先生はクラスの生徒と、学年の先生は学年の生徒と一緒に過ごすけど、校長先生は全校生徒と関われるからね。きっと、みんなと一緒に何かをするのが好きなんだね。」その答えを聞いて、質問した生徒がどう感じたかはわかりませんが、不思議そうな表情で聞いていました。

学校には、様々な役割を担う人たちがいます。生徒たちも一人一人みんな違います。でも、同じベクトルで歩いていければ、きっと少しずつ何かを作り上げられると思います。みんなと一緒に笑顔で過ごせる学校を作りたい。私はそんなふうに考えています。